

諸願聴取の際
委員からの要請に
基づき提出。
(関戸議員)

R02.09.04/飯野

報 告

件名 戸頭地域市政協力員説明

(取手市立戸頭北保育所の廃止時期について)

日時 令和2年8月31日(月)午後1:30~2:30

出席 〇〇〇〇氏(戸頭地区)、〇〇〇〇氏(戸頭団地)、〇〇〇〇氏(戸頭町会1)、
〇〇〇〇氏(戸頭町会2)

他地域住民(3人)、須田議員、関戸議員

稲葉福祉部長、飯野(子育て支援課長/文責)、松崎課長補佐

会場 戸頭東集会所

内容 別添資料を説明したのち、委員からの質問に応じた。

〇〇〇〇氏

Q: 市から説明会の開催をうけ、昨日(8月30日)地域のみなさんからの声として以下を市に要望する。

戸頭駅に大変近く、戸頭北保育所はこの地域の貴重な施設。存続を希望する。

- ・廃止で対象児童の環境の変化が不安
- ・廃止して全ての児童が他の園に入所出来るのか心配
- ・公共施設を廃止していく方向性は逆行する。
- ・公立は安心・安全である(保育料も標準である)廃止の理由が理解出来ない。

A: ご理解いただくようお願いします。

Q: 戸頭地域は小学校が廃校となり今回は保育所。公共施設がなくなりまちが衰退していく。絶対に廃止を反対する。

A: ご理解いただくよう説明させていただきたい。

Q: 市から要請を受けて開催しているのに通知文はなく電話のみである。市の姿勢に疑問である。

A: 申し訳ありません。

Q: 戸頭地域全住民を対象とした説明会を開催してほしい。

A: 回答なし

Q: 待機児童解消と言うがどのくらい解消されるのか。

A: 戸頭北保育所保育士26人を他の保育所に再配置することで、78人の児童の受け入れが出来る見込みである。

Q: 子どもの環境が変わることが心配。

A: 移籍前後の心理ケアの巡回相談を予定している。

Q：廃止で入所児童の受け入れ先は大丈夫か。

A：同じエリアに永山保育所があり受け入れ先になる。また市内4つのエリアに分けて、公立・民間の整備をしてきた。直近ではあづま幼稚園や戸頭東保育園が、改修に併せて受け入れ人数の拡大を図っている。

Q：永山保育所を部分改修というが、廃止するのに違うところを拡充改修というのはおかしい。

A：新型コロナの影響を受けての改修である。

Q：廃止の話は急にでてきた感がある。どのような経緯か。

A：計画素案のパブリックコメント実施前の令和元年11月30日に第1回開催。令和2年2月29日に予定していたがコロナ禍で延期。今年度改めて7月11日開催。先日8月29日に廃止の時期について説明会をした。

以上

翌9月1日 戸頭北保育所門扉周辺に、同じチラシ（別添）が配布されていた。